

改題

土楽たより

どうらく

Kogure 農場 2月号 (NO46)

2014年2月10日(月)発行(毎月10日)

【農暦】寒さに縮んだ身体は働こうとしない!

○節分(3日)には恵方巻を今年の方位の東北東に向って食べた。豆まきをした。その後で歳の数だけ豆を食べた。今では10歳分を1粒にしている。魚の頭と柊を玄関には飾るのは省略したが、家族との時間が少なかった事もあり、祭事などの行事は大事にする様になっている。先人の知恵や祈りが込められた祭事は出来るだけ継承したいものとの思いもある。自然に畏敬の念を持つ事や自然の移ろいを感じながらの生活は大事したいと思っている。自然に対して決して暴君になってはならない。自然に隔絶して生きられる程人間は強くない。20世紀は戦争の世紀で21世紀は共生の世になると勝手に考えていたが、20世紀をやめられない凝れない人が多い。人間の性^{さが}なのか日本の戦争放棄の憲法も危うくなって来た。若い命が求められるだけでなく、かけがえのない地球の命を危うくする道に繋がってしまう。人類の知恵を信じたいのだが、。節分の行事から、いろいろな事を考えてしまった。

○4日の立春は3時過ぎからの雪で一面の雪景色になった。関東地方ではこの時期に良く雪が降る。春の気団に変わり始めるための気象現象なのかも知れない。この雪景色から春が始まっているのだと思う。8日の爆弾低気圧?による大雪に春はストップの感がある。

○前々回?のたけしのTVタックルで東工大の教授が“CO2 ガスは温暖化に関係しない”と発言していた。どれだけの根拠があつてのものか判らないが、3.11以降の学者の肩書きの人の発言で左も右も?疑わしく感じる事が多い。次週の憲法を扱った同じ番組の中で大竹まことさんが“数年前と番組の雰囲気が変わった”という意味の発言をされた。みように気になった。世論の変化には敏感になりたいと思う。

○海水温が0.6℃位振れただけで大変な異常気象になるのである。デリケートなバランスの中で地球の命が育くまれているのである。地球史からすれば微妙な瞬間を生かされて



<雪に覆われた家の前の畑> 立春の翌朝の雪景色。朝日に輝く、一面の雪。5日撮影

いる事を忘れてはならないと思う。CO2 ガスの関与は兎も角？、異常気象は間違いなく進んでいる。異常気象は温暖化の一里塚であると思う。私は人災であると思う。

○春は急ぎ足で来る。寒さに縮んだ身体は働こうとしない。急がないと又遅れ作業になってしまう。僅かだが果樹類の剪定作業は終わった。残り片付け、耕起など 2 月中にはしたい。最近、身体がコワイ（いばらぎの方言で疲れる）、ズボラの気持ちを抑えて、何よりの良薬の農作業である。春への季節の移ろいに合わせ身体を整えながら進めたいと思う。

【楽農】収穫作業は終了する！

<ハウス> ; <畑 A> ; <畑 B> ; 剪定作業、片付け等など少しだけ行った。

【楽市】イベント交流・直売など

○その他（新年会など）；

・共生の会（16 日）、笠吟連の新年会（18 日）、栗剪定講習会（19 日）、ピッコロファームの新年交歓会（24 日）、水戸自然農の会（1 日）に参加した。

*8 日は、東京は 45 年振り 27cm、千葉は 33cm の大雪となった。車の事故、停電が多発のニュース。普通タイヤで周

辺に坂道が多く大事をとり茨大卒論発表会と OB 会の参加を断念した。

【つぶやき=Tweet】農業再興の旗手！

○米作り体験の会（5-6 年継続。笠間ガルデン入居を機に退会）でお世話になった染谷さんから新年のあいさつと共に近況報告を頂いた。「<略>、水稻、小麦等の栽培と地域の直売活動に取り組んできました。<略>今から 39 年前で 1.5ha の田んぼから始まり、水稻だけでも 100 倍近くの作付になり規模拡大が進むことができました。また「かしわで（直売所）」も幾つもの試練をのり越え 10 年目になりました」とあり、全国農業機械士会から功労賞、日本農業経営学会から実践賞の受賞した事、内閣府西村副大臣の来訪を受け、大規模化の現状調査と TPP と今後の農業について意見交換された事、内閣府規制改革会議の農業 WG が現地調査と農地法と農業委員会についての意見聴取に来訪を受けた事。NHK 週間ニュース深読み（昨年 1 月 30 日）「減反廃止へどうなる？日本のお米」に出演された事。昨年 10 月 1 日の日経の 2 面に“農業再興の旗手”で紹介された。本人は言った覚えが無い様だが「俺がやらずに誰がやる」の見出しで掲載された事などが書かれていた。米作り体験の当時に、車から捨てられた多量の飲み終わった空き瓶、空き缶を拾いながら”空き瓶を道路に置いてパンクさせたい”と言われた染谷さんの事が思いだされた。当に農業再興の旗手である。



<栗剪定の講習>寒風の中で女性講師の実地の講習。栗農家の誘いがあり参加。19 日撮影

○アベノミックスを心配していたが問題が顕在化して来ているようだ。円安誘導で輸出を増やし好循環のシナリオは早くもほころびが始まった。貿易赤字は1兆1兆を超えた。輸出量（為替の影響無し）も減る。エネルギーの部門では円安で5.2兆円と単価上昇を含め8割の負担増になっている。工場の海外移転で空洞化と働く世代が少ない高齢化の趨勢的、構造的日本経済では、円安は貿易赤字には寄与しても経済の好循環には繋がらない？と、テレビ朝日（6日）のモーニング○○で経済アナリストの見方を紹介していた。庶民の家計を圧迫し、国債を増やし後世代に負担を更に増やすと云う最悪のストーリーが始まったのではないかと心配である。数字はその事を示している。選択肢が無く選んでしまった政権なのかも知れないが、現政権は最悪の事ばかり進めているようで怖い。



＜テレビ朝日のモーニング○○＞貿易赤字の説明に使われたパネル。6日9時のテレビ画面

○“土楽たより”を読んでいるとメモ付きの”夫のボケは神様からの贈り物（近代文藝社）”の出版のはがきを頂いた。最近、気になる題名でもあり読まして頂いた。”定年退職の頃から女（XX・メス）の活動エネルギーに驚く場面を多く目撃し、企業社会から外れた私たち男（XY・オス）は何をしているのだろうと思っていました。本を読みながら自分は男（XY・オス）であると思いつくづき思い、その男の問題を考えさせられる思いがしました。男の性はいろいろ場面で辛い性だと思ってきました。読後感想はこれから行動の中だと思っています。良い本を有難う御座いました。”とメールさせて貰った。男女共同参画の活動に関わっている人や関心を持たれる人には特に読まれる事を薦めたい本である。人生の晩節はいろいろ考えなくてならない事が多いと思いつくづき思う。

○冬季オリンピックがロシアのソチで厳戒体制の中で開催された。オリンピックのあり方には問わなくてならないものがあると思うが、トップアスリートの競技は素晴らしい。つい深夜まで”見続けてしまった。競技の技量の差異は凄いものがある。ロシアの15歳少女は素晴らしかったが、転倒してしまっただが浅田真央は素晴らしく輝くものがあった。練習、練習、鍛練、鍛練で磨かれた技は、オリンピックに限らず魅力がある。競技種目を問わずトップアスリートは良い顔している。心も性格も磨かれるからかも知れない。雪で家に閉じ込められた時間を過ごしている。雪かきに汗を掻いたが、何も出来ないのもいい！。

【後記】。既に今年も1カ月が過ぎ立春である。そろそろ実質のスタートをしなければと思う。笠間に、kogure農場にお越し下さい。【特に編集せずランダムな構成にします】

発行者；Kogure農場・小暮虎雄
 住所；笠間市本戸4201-10
 携帯電話；090-9333-4135
 メール；torao-k@nifty.ne.jp
 HP；<http://homepage3.nifty.com/toragigi/>